

平成 30 事業年度

決算報告書

【第 15 期】

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

国立大学法人 お茶の水女子大学



## 平成30年度 決算報告書

国立大学法人 お茶の水女子大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
<b>収 入</b>				
運営費交付金	4,433	4,447	14	(注1)
施設整備費補助金	62	62	0	
補助金等収入	244	230	△ 13	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	-	
自己収入	1,953	1,860	△ 92	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,843	1,648	△ 194	(注3)
雑収入	110	212	102	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,438	907	△ 530	(注5)
引当金取崩	-	0	0	
目的積立金取崩	73	153	80	(注6)
計	8,224	7,682	△ 541	
<b>支 出</b>				
業務費	6,459	6,456	△ 1	
教育研究経費	6,459	6,456	△ 1	(注7)
施設整備費	83	83	0	
補助金等	244	230	△ 13	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,438	1,800	362	(注9)
計	8,224	8,570	346	
収入 - 支出	-	△ 888	△ 888	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、追加配分及び前年度からの繰越金により、予算額に比して決算額が14百万円増額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、受入額の減少により、予算額に比して決算額が13百万円減額となっています。
- (注3) 授業料及び入学金及び検定料については、受入額の減少により、予算額に比して決算額が194百万円減額となっています。
- (注4) 雑収入については、予算段階では予定していなかった科学研究費補助金間接経費の獲得及び財産貸付料等の増加に努めたことにより、予算額に比して決算額が102百万円増額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入については、受託研究の受入額の減少により、予算額に比して決算額が12百万円減額となっています。  
寄附金収入等については、大口寄附の獲得がなかったことにより、予算額に対して決算額が517百万円減額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、国際交流留学生プラザ建設等による取崩しにより、予算額に比して決算額が80百万円増額となっています。
- (注7) 注1、注3、注4、注6に示した理由により予算額に比して決算額が1百万円減額となっています。
- (注8) 注2に示した理由により予算額に比して決算額が13百万円減額となっています。
- (注9) 繰越額が減少したことにより予算額に比して決算額が362百万円増額となっています。

